

恐怖の補習 サバイバル日本史⑤

【前回までのあらすじ】

不正解者が次々と退室させられるという補習、サバイバル日本史。「補習に出るくらいなら、公園でまったりしたい！」というアホな持論を持つカジは、わざと不正解になることで早期退室を目論む。が、「日頃の行いが悪いため、不正解でも退室にならない」という特殊ルールがカジにのみ適用される。「カジ、答えろ！」「分かりません！」「座れ！」を幾度となく繰り返した末に、新たな局面が訪れる。



ティーンズコーナーHP

「日露戦争後に締結された講和条約は？」

デモニツシユの質問にカジが固まる。答えられる、この問題答えられるぞ！「ポーツマス：ポーツマス：」カジ友からも猫ひろしさながらの『ウィスパー回答（前々号参照）』が発せられる。やはり、答えは「ポーツマス条約」だ。だが簡単に答えられているのだろうか。不正解であれば座れと言われる。ならば逆に正解したときはどうなるのだろうかという疑問が湧いてくるが、デモニツシユの性格上、どうせ座れと言われるであろう。どっちに転んでもこのサバイバル日本史から逃れることはできない。もどどちでもいい。いやどちでもよくない。サバイバルから脱落したい！とにかく家に帰りたい！土曜の午後の再放送アニメが観たい！

考えに考え、溜めに溜め答えを発する：

「ポーツマス条約！」

「正解！ 帰れ！」

「え？ あ、はい（笑）」

えええーまさかの帰れがでたよ！デモニツシユの気持ちが変わらないうちに素早く荷物を片付け、ホクホク顔で退室するカジ。他の生徒たちは困惑気味の表情を浮かべている。なぜ帰れ！となったのか理由は不明だが、何はともあれ帰れるのだから何でもいい。そして「正解！」からの「帰れ！」という流れも実に痛快であった。

後日、デモニツシユに件の帰れ発言について聞くと、「わかりません座れ」のやりとりを繰り返しているうちに、ルールがよくわからなくなり、勢いで帰れと言ってしまったんだよとのことだった。かわい。

華麗なる図書館利用者のための

Cool Librar

クールリブラー講座

カジのひねもすハイスクール純情派

文/カジ

図書館ホームページのティーンズコーナーをぜひぜひ見てみよう！

いや、正直そんなに図書館ホームページのティーンズコーナーをぜひぜひ見てもらいたいわけではない。しかしながら、このクールリブラーもホームページ上に掲載されており、そっちはそこそこ見てほしいのだ。大体こんなふざけたコラムが50号以上も続けられていること自体、世の中には実に見事であると思わざるを得ないのであるが、このコラムの中でも特に読んでほしいのが、No.20から始まるいわゆる「千絵ちゃん」シリーズなのである。ダメ中学生カジが、なんかかんやアレがうまくいって夢のようなシンデレラストーリーを歩むという物語。全ストーリーほぼ実話なので、その辺もアレして楽しんでほしい。わんばくでもいい、遅く育ってほしい。